三井デザインテック
MITSUI DESIGNTEC

三井不動産グループの
&EARTH

2026 年 11 月 13 日
三井デザインテック株式会社

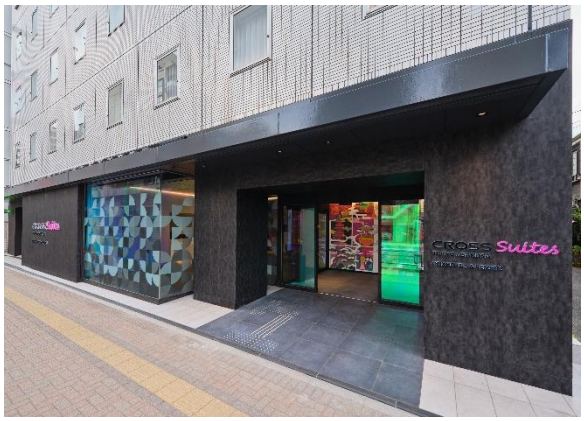
資源循環する特注家具サービス『CIRCULAR FURNITURE』を「クロススイーツ東京浅草」に導入

～環境配慮とデザインを両立し、宿泊客に家具の素材や CO_2 排出量を公開～

＜本リリースのポイント＞

- ロビーやラウンジ等、宿泊客が触れるオリジナル家具に『CIRCULAR FURNITURE』を導入
- 廃材･端材などの素材の個性をデザインに生かし、環境配慮と意匠性を両立
- 二次元バーコードから、素材の由来や CO_2 排出量を英語･日本語で確認可能に
- 家具に加え、床や天井などの内装にも環境配慮材を採用し、ホテルでの持続可能性に取り組む

三井デザインテック株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：村元祐介、以下、三井デザインテック）は、クロススイーツ東京浅草（所在地：東京都台東区、総支配人：尾形塁）において、オリジナル家具を対象に、家具のサーキュラーデザインを実現するサービス『CIRCULAR FURNITURE』を導入しました。宿泊客は家具に設置した二次元バーコードを読み取ることで、素材の由来や CO_2 排出量を英語・日本語で確認することができます。





（左）クロススイーツ東京浅草　外観　　（右）CIRCULAR FURNITURE を導入したフロントカウンター

クロススイーツ東京浅草は、ORIX HOTELS & RESORTS の新ブランド「CROSS Suites」の 1 号店として 2026 年 7 月に開業しました。フルリノベーションによって生まれ変わった同ホテルのインテリアデザイン・設計から施工までを、三井デザインテックが担当しました。

旅行予約サイトでは、宿泊先選びの条件として、サステナビリティへの取り組みを検索できる機能が広がるなど、環境配慮を重視する宿泊客が増えています。一方、滞在期間の限られるホテルでは、家具の素材を知る機会は多くありません。三井デザインテックとクロススイーツ東京浅草は、宿泊客が日常的に触れる家具そのものを、ホテルの環境への取り組みを伝えるきっかけとしています。

既存の建物を生かした今回の改修では、家具についても「つくって終わり」とせず、次の使い手や用途まで見据えたものづくりを目指しました。

三井デザインテックは今後も、「デザイン」を通じて空間と素材の新たな循環を生み出し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

資源循環とデザインを両立した空間づくり

「クロススイーツ東京浅草」のインテリアコンセプトは「CONNECT WITH（つなげる・つながる）」。土地、文化、人々、そして未来とつながる場を目指し、DIVERSITY・FUTURE・ECO-FRIENDLY・CULTURAL の 4 つを柱としています。

このコンセプトに基づき、浅草の伝統柄や浅草寺からインスピレーションを得た苔色や銀杏色を内装に取り入れました。また、東京ゆかりの若手アーティストによる作品を館内各所に配置。浅草の風物や東京の街並みをモチーフに、浮世絵タッチからデジタル表現まで作風の異なる作品を採用し、多様な表現を共存させることで「DIVERSITY」を表現しています。

客室廊下では、床から天井へと連続して旋回するデザインで、空間に立体感を持たせました。階数サインには仲見世通りや伝法院通りなど浅草の通りの名前をあしらい、和室のコンセプトルームや金魚をモチーフにした客室も設けています。


▲1 階廊下の壁画

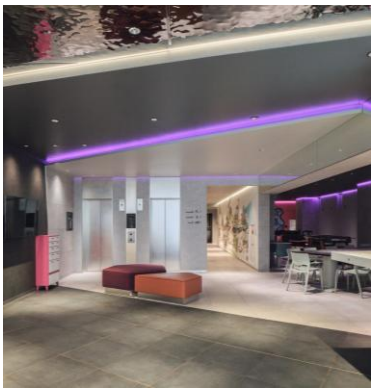

▲浅草タタミルーム


▲浅草の通りの名前をあしらった階数サイン

こうした空間づくりの一環として、『CIRCULAR FURNITURE』の家具や環境配慮材も、環境負荷の低減だけを目的とせず、廃材や端材など素材そのものが持つ個性を意匠として生かしています。

滞在のあらゆる場面で触れる家具に CIRCULAR FURNITURE を導入

『CIRCULAR FURNITURE』は、ロビー、ラウンジ、ランドリーといった、宿泊客が滞在中に繰り返し利用する場所に導入しました。家具ごとに素材の選定から設計手法まで見直し、従来の製作方法に比べて CO_2排出量（CFP※1）を削減しています。廃材や端材ならではの表情を隠すのではなく、素材の個性として意匠に生かしました。



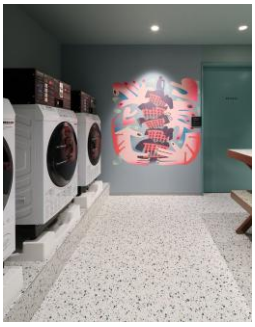

（左）ロビー （右上）フロントカウンター （右下）MAGO BLOCK

フロントカウンター（ロビー）
CFP 削減量 41.40%
宿泊客がチェックインの際に最初に触れるカウンターは、左官材「MAGO BLOCK by SAKAN」で仕上げました。電子廃棄物のチップや、海岸に漂着したガラスを骨材とする素材で、美術家・長坂真護氏の取り組みから生まれ、原田左官と協働してつくられています。バックカウンター、ハイカウンターにも採用しました。



（左）ラウンジ　（右）ローテーブル

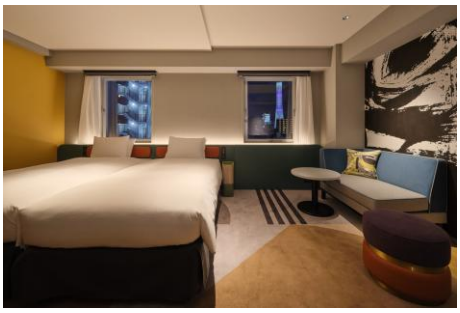
ローテーブル（ラウンジ）
CFP 削減量 31.35%
ゲストラウンジのテーブルです。桜、檜、スプルース、オーク、楠の端材を組み合わせた天板とし、通常は使われにくい材料を個性として生かしています。輸送に伴う CO_2排出を抑えるため国産材を選定し、国内の工場で製作しました。



（左）ランドリー　（右）ランドリーテーブル

ランドリーテーブル（ランドリー）
CFP 削減量 85.81%
長期滞在の宿泊客が日常的に使うランドリーのテーブルです。接着剤を使用せず、使用後に単一素材へ分解しやすい構造としました。原材料調達段階の CO_2排出量を、従来家具の約 10 分の 1 に抑えています。

内装仕上げでも、床・天井・巾木を含む改修対象面積の78.6%で環境配慮材を採用しました。伝統柄をパッチワークにした客室階のカーペットは、下地にリサイクルシートを重量比45.8%使用。客室の天井にはホタテの貝殻を再利用したバイオシェル壁紙を用いています。

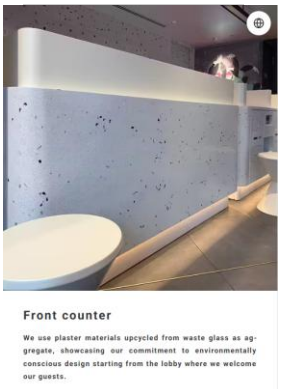

▲ホタテの貝殻を再利用した壁紙を天井に用いた客室

二次元バーコードで、家具の素材の由来や CO_2排出量を宿泊客に公開

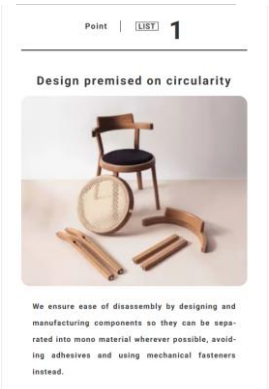
CO_2排出量を 30%以上削減した共用部の家具には、DPP※2 を実装し、二次元バーコードを印字したコルクのキューブを設置しました。宿泊客はスマートフォンで読み取るだけで、素材がどこから来たのか、なぜその素材や構造を選んだのかといった家具のストーリーに加え、調達・製造・流通・使用・廃棄の工程ごとの CO_2排出量を、従来家具と比較して確認できます。

▲フロントカウンターのDPP

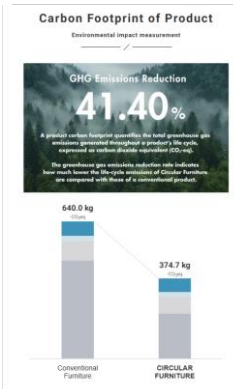
宿泊施設である本件では、DPP を宿泊客に家具の背景を伝える手段と位置づけ、素材のストーリーや CO_2排出量に表示を絞りました。海外からの宿泊客が多いことを踏まえて英語を初期表示とし、日本語にも切り替えられる仕様としています。



▲二次元バーコードから英語・日本語で確認が可能



▲DPP のストーリー画面



▲家具のライフサイクル全体のCO_2排出量の削減率

今後の展望

三井デザインテックは、既存の建物を生かすホテルの改修において、デザインと資源循環を両立する空間づくりを提案していきます。あわせて、特注家具にとどまらず内装空間全体のサーキュラリティを実現する「CIRCULAR INTERIOR」への展開を目指します。2028 年度に導入が検討されている「建築物 LCA※3 制度」を見据え、内装材や家具ごとの CO_2排出量の算定・開示から、使用後の回収・再資源化まで、内装分野における資源循環を一つの仕組みとして整えてまいります。

※1 CFP(Carbon Footprint of Products):製品のライフサイクル全体において排出される温室効果ガスの総量を、CO_2換算(CO_2-eq)で数値化したもの
※2 DPP(Digital Product Passport):製品に関するさまざまな情報(環境負荷、素材、再利用・リサイクルの方法など)をデジタル形式で一元的に管理・共有する仕組み
※3 LCA:ライフサイクルアセスメント(Life Cycle Assessment)の略で、製品やサービスの原料調達から製造、輸送、使用、廃棄に至るまで、すべての段階で環境に与える影響を評価する手法

◆CIRCULAR FURNITURE とは

『CIRCULAR FURNITURE』は、設計・製造から使用後の回収・再資源化まで、特注家具のライフサイクル全体にわたる資源循環を支援する業界初のサービスです。「サーキュラーデザイン設計」「CFP 算出」「DPP 実装」「トレーサビリティ」の各工程を、複数の専門パートナーとの連携により一つにつなぐことで、これまで個別に行われてきた循環の取り組みをライフサイクル全体で統合します。これにより、「製造・使用・廃棄」と一方通行だった家具づくりを「環状」へと転換し、設計から再資源化までを通じた家具の循環利用を実現します。

サービスの詳細は、2025 年 12 月 3 日付プレスリリースをご覧ください。
https://www.mitsui-designtec.co.jp/wpctrl/wp-content/uploads/pressrelease_mdt_20251203.pdf



◆担当デザイナー プロフィール

田中映子/たなか えいこ
クリエイティブデザインセンター
デザイン第一グループ長/クリエイティブディレクター



ブランディング・コンセプトメイキングからの提案を得意とし、シティホテルやリゾートホテル・ヴィラ・旅館・ブライダル・レストランなどホスピタリティを中心とした多様なプロジェクトを手がける。課題解決をデザイナーのミッションと捉え、顧客の収益最大化を狙いながら、社会貢献の高い上質な空間創りをマインドに据えている。
DSA Design Award、Red Dot Award: Brands & Communication Design、日本空間デザイン賞、Sky Design Awards 等、多数受賞。

◆クロススイーツ東京浅草とは

クロススイーツ東京浅草は浅草寺より徒歩約 2 分の場所に位置し、「遊ぶ、知る、出会う、浅草ネイバーズライフ」をテーマに浅草の街で暮らすように旅をする滞在をご提案します。東京・浅草からインスピレーションを受けて制作されたアートウォールが館内に点在し、エネルギッシュな浅草のムードを感じられます。ホテルクルーが厳選した地域のおすすめスポットを紹介するオリジナルマップも配布しています。ラウンジ「Hang Out @CROSS Suites」では、日本文化に触れるきっかけや宿泊ゲスト同士の交流を図る折り紙ワークショップ、けん玉チャレンジ、日本語教室などを 20 時 00 分より週 2～3 回開催しています。

https://crosssuites-tokyoasakusa.orixhotelsandresorts.com/

施設名称	クロススイーツ東京浅草
所在地	東京都台東区浅草 2 丁目 33-7
客室数	78 室
運営	オリックス・ホテルマネジメント株式会社
開業日	2026 年 7 月 3 日
インテリアデザイン・設計・施工	三井デザインテック株式会社

◆三井デザインテック株式会社とは

三井デザインテックは、オフィス・ホテル・商業施設・医療施設等の内装企画・デザイン・設計・施工等のスペースデザイン事業と、マンションや戸建住宅のリフォーム・インテリアコーディネート・商品販売、マンション共用部改修まで、住まいに関わる多彩なライフスタイル事業を展開。多様化・ボーダレス化する暮らしや働き方のニーズに対し、住宅・オフィス・ホテルなどさまざまな領域をクロスオーバーした空間づくりで培った「デザイン力」を基軸に、お客様に「心地よい、満足できる空間」を提供しております。最新情報はオフィシャルサイトをご覧ください。

https://www.mitsui-designtec.co.jp/

◆三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1.産業競争力への貢献」、「2.環境との共生」、「3.健やか・活力」、「4.安全・安心」、「5.ダイバーシティ&インクルージョン」、「6.コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針」　https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
・「グループマテリアリティ」https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
・「&EARTH for Nature」https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



自然資源を循環させる

※この資料は以下の記者クラブにお届けしております。
〇国土交通記者会　〇国土交通省建設専門紙記者会

＜報道に関するお問い合わせ先＞
三井デザインテック株式会社　広報担当：小野澤・西谷
E-mail：press@mitsui-designtec.co.jp　TEL：03-5931-4649